

杉並支部レター

THE OBJECTIVES OF TCCI, WITH BRANCHES ESTABLISHED IN EACH OF THE 23 WARDS OF TOKYO, ARE TO FOSTER THE OVERALL IMPROVEMENT AND DEVELOPMENT OF COMMERCE AND INDUSTRY AND TO CONTRIBUTE TO THE WELFARE OF THE COMMUNITY.



特集
阿佐ヶ谷ブロック

表紙写真：中杉通り



【中杉通り】JR阿佐ヶ谷駅を中心に、阿佐ヶ谷の北部を東西に走る早稲田通り、同じく南部に東西に走る青梅街道、これらを南北に結ぶのが中杉通りです。約2km続く通りを美しく彩るのは、街のシンボルとも言える荘厳なけやき並木。1954（昭和29）年の戦後復興期、駅周辺の整備事業として植樹された119株のけやきの若木が、時を経て立派な大樹へと成長したものです。春夏秋冬、それぞれ鮮やかな景色を愉しめる癒しの空間として親しまれており、1992（平成4）年には「杉並百景」の一つにも選ばれています。

撮影／細野靖久

SUGINAMI AREA MAP



経営者に聞く



株式会社タマス 代表取締役 山田俊策氏

過去を顧み前進、感謝の気持ちを忘れない

創業当時から世界のマーケットを相手に卓球用具を作り始めたこと、また、当社発行の卓球専門誌「卓球レポート」が選手の教科書的存在として読み継がれ、そこから「バタフライ」のブランドが全国的に広がったこと、この2つが、当社の製品がプロ選手に愛用されるようになった理由だと考えます。「バタフライ」の由来は、創業者の田舛彦介（故人）が、選手を花に例えて、社員は花に仕える蝶（Butterfly）のように誠実に働くという信念から。具体的な経営戦略よりもっと深い部分にある、そうした「社員の心」を大切に受け継いでいくことが、企業の安定やブランドの差別化につながるのだと思います。

卓球の魅力は、狭いスペースで気軽にでき、それぞれのレベルに応じた様々な楽しみ方ができること。当社は、今年6月に行われた世界卓球で試合球のスポンサーを務めたほか、国際卓球連盟と連携したジュニア選手の育成、地域での卓球教室の開催や、各施設への卓球台の寄付などを通じて、卓球の幅広い層への普及に努めています。

当社は今年、創業60周年の節目を迎えます。中国の古典「淮南子」にある「六十にして六十化す」という言葉は、何年経っても過去を反省して新しい自分を創っていくという意味。この言葉のように、われわれも過去を見つめ直して新しいタマスを作ろう、そして、これまで会社を築き上げてくれた先輩社員やお客様など、すべての人に感謝できるような体質にしていこうと、社員一丸となって努力しているところです。

株式会社タマス

1950年創業。卓球用品総合メーカーとして「バタフライ」のブランドで世界中の卓球愛好者に親しまれている。特に、国際大会における同社製品使用率は6割を占めるなど、世界の一流選手に選ばれる品質の高さが強み。阿佐ヶ谷に本社を置き、敷地内に練習場「バタフライ卓球道場」を併設するほか、所沢と那須に研究・開発施設、ドイツ、中国、韓国に現地法人を持つ。

杉並支部の事業より

第2回花と緑の井草祭り／シンボル・フラワーロード構築



左) 第2回花と緑の井草祭りの様子。右) 道路沿いに置かれたプランター。

東京商工会議所杉並支部は、5月15日、荻窪園芸地方卸売市場にて、「第2回花と緑の井草祭り」を開催しました。寄せ植え体験教室、花や野菜の即売会、抽選による花のプレゼント等を実施、約3,500名の来場者で賑わいました。当支部では、地域の関係者（町会・商店街・事業所・学校・区等）と協力して、昨年度から「花と緑のガーデンタウン井草（井草地域活性化推進事業）」を行っています。井草地域の特長である「園芸・農業」「緑」「アニメ」を活用して地域の活性化を図る事業で、今回のイベントは昨年に引き続き、この事業の一環で開催しました。また、5月22日、25日には、都立農芸高校の協力を得て、上井草・井荻・下井草3駅の南側を東西に結ぶ道路に、花の植え込みや植え替えを行ったプランター約580基を置きました。

東京商工会議所入会のご案内

～会員として東京商工会議所にご加入いただくと、様々なメリットがございます！～

経営支援活動

経営の改善と新たな成長に向けて取り組む企業の挑戦を力強くバックアップします。

資金のご案内

★経営改善資金（マル経融資）：マル経融資（小規模事業者経営改善資金）は小規模事業者の方々の経営をバックアップするために無担保・無保証人で商工会議所の推薦にもとづき融資される国（日本政策金融公庫）の融資制度です。

★東京商工会議所メンバービジネスローン：東京商工会議所と協力金融機関（銀行・信用金庫・信用組合）の提携により、通常より優遇された条件で融資が受けられる東商会員ならではのメリットです。

経営のご相談

専門家が無料でご相談にお応じます。

★法律相談・税務相談：経営上、お困りの方はお気軽にご相談ください。弁護士・税理士がお答えいたします。

★エキスパートバンク：小規模事業者の皆さまからのご要望に応じて、東京商工会議所に登録されたエキスパート（専門家）を直接事業所に派遣し、具体的・実践的なアドバイスによって問題の解決に役立てていただくものです。

政策提言

要望活動

経営環境の改善と活力のある経済社会の実現に向けて会員企業の皆さまの声を政治・行政に反映させます。

地域振興活動

産業振興・地域活性化に向けて会員企業の皆さまと地域社会の取り組みを推進いたします。

【杉並支部】今後の事業予定

【各種経営セミナー】

経営者・従業員の方向けの無料セミナーです。詳細は、後日FAX・ホームページ等でご案内します。

☆9月2日（木）14時～15時30分

「韓非子と老子に学ぶ組織論」

☆9月9日（木）14時～16時

「管理者のためのメンタルトレーニング」

【会場】杉並区立産業商工会館

【参加費】無料

【3級簿記講座】

【日時】9月3日～11月9日 原則火・金曜日（全20回）
18時30分～20時30分

【講師】(有)新日本マネジメント・コンサルタンツ
経営コンサルタント 新町義美氏

【定員】55名（先着順）

【料金】25,000円（税込、テキスト代・検定試験料含む）

【会場】杉並区立産業商工会館

お問い合わせ：東京商工会議所 杉並支部 ☎03-3220-1211

阿佐ヶ谷ブロック

地域の活性化は商店街から

阿佐ヶ谷わがふるさと館

地域住民の交流の活性化を目指して阿佐ヶ谷パールセンター内に設立された「阿佐ヶ谷わがふるさと館」が、開館から3年目を迎えました。パールセンターの理事長・中村浩一さんにお話を伺いました。

同館では、各種イベントや展示、会議室の開放(有料)、区内の作業所によるコミュニティショップの出版を定期的実施。土日には「あさがや案内人」が商店街やまちの情報を提供し、バリアフリートイレやAEDも付設するなど、すべての人が安心して利用できる、まちの憩いの中心地として定着してきました。今後は特にイベントスペースとし

ての更なる有効活用を模索中と中村さん。しかしパールセンターは、七夕まつりやジャズストリートといった大規模なイベントを長年続けており、新しい企画を出すのは大変なこと。そんな中、青年部による若手の斬新なアイデアで、まちが新たに賑わい始めたといえます。青年部長を10年務められた太田泰司さんにお話を伺いました。

青年部発のイベントのひとつは、今年で2回目となった阿佐ヶ谷スウィングウォーク。ふるさと館を中心に洗濯板やペットボトルなど身近なものを楽器にしたジャグバンドが演奏し、館内では親子で手作り楽器を

製作。多くの人が集まりました。また、商店街内の自転車走行を抑制するキャンペーン「サンキューウォーク」を提案したのも青年部。自転車走行を禁止するのではなく「自転車を降りてくれて、ありがとう」と伝えることで、気持ち良く規則を守ってもらおうという発想は、これまでになかったと好評なのだとか。「子供も育っていくまちだから、良くしていかないと」と、只今5人のお子さんの子育て真っ最中の太田さん。どんな世代も、まちを何とかしようという熱意はひとつ。その想いを大事にすることで、これからも魅力的なまちへと発展していくと、最後に中村さんが力強く話してくださいました。

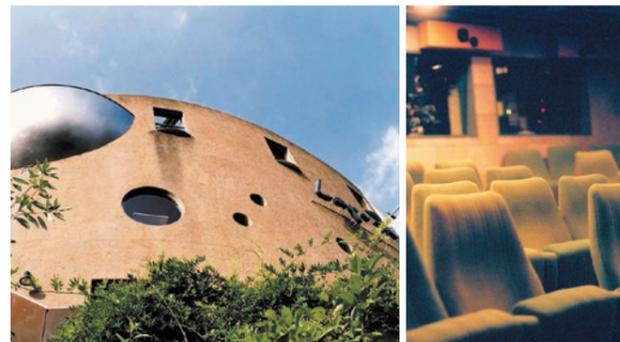


上) ふるさと館2階展示スペース。下) 同館入口。

こだわりの映画館 ラピュタ阿佐ヶ谷

阿佐ヶ谷駅北口近くの住宅街に突如現れる、神秘的な外観が印象的な映画館「ラピュタ阿佐ヶ谷」が、この地に根ざして12年。昭和40〜50年代の日本映画を中心としたオリジナル리티あふれる作品上映には定評があり、多くの映画ファンの心をつかんでいます。

座席数はわずか48席。映画館の立地としても苦しいけれど、都心にあるシネコン(複合映画館)では絶対に味わえない持ち味を追求していきたくと語るのは、支配人の石井紫さん。ラピュタの個性のひとつに、フィルム上映へのこだわりがあります。デジタル上映とは違うフィルム独特の魅力を堪能できる映画館は、各地の名画座が閉館していく現代ではまさに貴重な存在と言えます。



左) ラピュタ阿佐ヶ谷の特徴的な外観。右) 館内の様子。

ラピュタ周辺のスターロードや一番街は、どことなく昭和の風情が残る街並み。古き良き日本映画を楽しんだ後、この界限で一杯、ひとつに、フィルム上映へのこだわりがあります。デジタル上映とは違うフィルム独特の魅力を堪能できる映画館は、各地の名画座が閉館していく現代ではまさに貴重な存在と言えます。

ラピュタ周辺のスターロードや一番街は、どことなく昭和の風情が残る街並み。古き良き日本映画を楽しんだ後、この界限で一杯、ひとつに、フィルム上映へのこだわりがあります。デジタル上映とは違うフィルム独特の魅力を堪能できる映画館は、各地の名画座が閉館していく現代ではまさに貴重な存在と言えます。

という人も多いたか。昔はまちに一軒は必ず映画館があり、そこに人が集い、周りのお店も盛り上がった。オーナーの才谷遼さんは、ここもそんな拠点になればという思いをもって建てたそうです。

ラピュタ会員(要年会費)になれば、観賞割引などの特典が。館内には映画館のほか、小劇場「ザムザ阿佐ヶ谷」、フランス料理店「山猫軒」も併設。まだ行ったことのない方は、ぜひ一度足を運んでみては?

杉並区の花顔



阿佐ヶ谷商店街振興組合 理事長 中村浩一氏

愛郷心でまちを元気に

1928(昭和3)年から代々、阿佐ヶ谷で生花店を営む家庭で育った中村さん。当時は田んぼだったという善福寺川公園の周辺は、子供の頃よく遊んだ場所。風景は変わったけれど、今でも散歩をすれば自然に足が向き、ホッとする場所なのだとか。パールセンターの理事を務めて20年、理事長に就任して4年。ひと月のうち25日は商店街の用事で埋まっているという多忙な毎日ですが、この忙しさも、まちを良くしようという心意気があるから苦ではないと笑顔の中村さん。お店は息子さんが引き継ぎ、息子さんもまた、商店街青年部で活動中。阿佐ヶ谷への郷土愛バトンは、これからも繋いでいけそうです。

阿佐ヶ谷への恩返し

生まれと育ちは新宿・牛込柳町という川上さん。10代のとき、富士登山のために乗った中央線から阿佐ヶ谷のまちを見て「将来、独立するならこの辺り」と直感したのだとか。靴店開業時に50あったゴールド街の店舗も、今や半減ですが、長い間やってこれたのは、近所の人の応援や古くからの付き合いの問屋さんに支えられたから。今は恩返しの気持ちから、東靴協会常務理事をはじめ数々の団体や町会、商店会に力添えをされています。今年、傘寿を迎える御年にはとても見えない川上さん。若さの秘訣は体力づくりからと、少し前まで大宮八幡宮までのランニングを欠かさなかったそうです。



あさがやゴールド街商店会 会長 川上久和氏

地歴散策

阿佐ヶ谷 神明宮

1800(寛政12)年に著された「江戸名所図会」によると、日本武尊が東征の帰途、阿佐ヶ谷の地で休息し、後に



阿佐ヶ谷神明宮の大鳥居。

尊の武功を慕った村人が鎌倉時代旧社地(お伊勢の森と称される現在の阿佐ヶ谷北5丁目一帯)に一社を設けたのが、神明宮の始まりといわれています。約3000坪の境内には、巨木も多く、都内最大級の伊勢神宮勧請の神社です。一方、JR阿佐ヶ谷駅から、徒歩2分の地にあるため、年間を通し数10万人の参拝客で賑わいます。

最近、能を始め骨董市、植木市、伝統芸能の奉納、あるいはジャズストリートの会場になるなど、地域のコミニケーションの場として広く親しまれています。

中でも豊年満作を祝い、神に感謝するものとして例大祭に奉納される「阿佐ヶ谷囃子」は、江戸時代末期からの伝統を



阿佐ヶ谷神明宮の拝殿。

誇り、区の無形民族文化財に指定されています。なお、例大祭には、氏子内14カ所の御幸所から各神輿が集結し、一斉に氏子巡幸する姿は誠に壮観であり杉並の風物詩のひとつとなっています。

PICK UP ピックアップ in 杉並 SUGINAMI

株式会社とらや椿山(和菓子)

代表取締役 坂井潤 阿佐ヶ谷南1-33-5 電話:3314-1331 FAX:3314-3766

1925(大正14)年創業の老舗。当初は、阿佐ヶ谷駅南口駅前にありましたが、平成に入ってパールセンターの青梅街道寄りに移転。「四季折々の素材を生かした丁寧な菓子づくり」に励んでいます。厳選した国産の大栗一粒を甘さ控えめの白餡に包んだ「大栗まんじゅう」のほか、黄身餡に蜜漬けにした青梅を包んだ「青梅桃山」、四季の花をかたどった上生和菓子など、多彩な品ぞろえで、お客さまの舌と目を楽しませます。写真の「たなばた餅」は、阿佐ヶ谷の夏の風物詩、たなばた祭りにちなんで命名された祭りの期間だけの限定品。これを食べないと夏が来た気がしないという人もいるほどの人気になっています。

有限会社榎本商店(インテリア) http://www.asagaya-enomoto.com/

代表取締役 榎本正晴 阿佐ヶ谷南1-12-5-104 電話:3311-2851 FAX:3311-4352

家具店として創業、以来60年、南阿佐ヶ谷すずらん通りに所在。現在は、インテリア小物の販売が中心。ジュタン、カーテンに始まりリフォームの相談など、およそ「家庭」「生活」に関わるご相談にはきめ細かく対応するのがモットー。クリーニングの取り次ぎも行います。インテリア・エノモトの社長業に加えて、2006年からは「南阿佐ヶ谷すずらん商店街」の理事長としても活躍する榎本氏。組合員は約50店舗と小振りながらも、東京都内の「すずらん通り」連合会の催しや杉並区の友好都市との交流イベントなどを活発に行い、活気あふれる商店街を目指しています。

野菜食堂はやしや(創作和食)

代表 林和貴 阿佐ヶ谷北1-3-8 城西阿佐ヶ谷ビル1F 電話&FAX:5356-9400

阿佐ヶ谷駅北口から徒歩約2分。国産有機野菜と、北海道直送の鮮魚、最高級の岩中豚など素材にこだわり、「料理とは人の心と体を癒やすもの」と喝破するシェフが、一品一品、心を込めて作ります。新鮮な野菜を特製鍋で蒸し上げた人気の「蒸し野菜」や、手の込んだ「豆腐料理」、萬古土鍋で作る「炊き込みご飯」などを味わう際は、果実酒、カクテル、ワイン、日本酒、焼酎等、100種類以上のリストの中から好きな飲み物をお選びください。あなたの健康を探しに、「はやしや」に出かけてみてはいかがでしょうか。